

鉄道跡地敷地整備の検討(たたき)

令和2年7月

沼袋駅周辺地区まちづくり検討会

2020・7・9

はじめに

沼袋のまちは今、昭和2年4月沼袋駅開設以来、大きな変貌を遂げつつあります。

平成26年西武新宿線の地下化工事着工、令和9年工事完成予定により、沼袋駅前広場、鉄道跡地の利用等沼袋のまちの骨格づくりを着実に前進しなければなりません。

また地下化工事と同時進行で沼袋駅周辺地区で鉄道敷地利用に向けて、中野区・西武鉄道・地元商店会・住民が一体となった魅力あるまちづくりをすすめるとともに、沼袋の魅力を内外に発信し、まちの発展につなげていく必要があります。

平成25年2月24日「沼袋駅周辺地区まちづくり検討会」、「沼袋駅前バス通り商店街を考える会」が合同で行った「事前視察・意見交換会」を踏まえ調布・布田・国領駅をつなぐ鉄道敷地を有効に活用した事例を参考に沼袋駅周辺地区まちづくり検討会の取組み課題とする必要があります。

調布市作成(平成28年3月)発行の「鉄道敷地整備計画」はほぼ9割方完了しています。

完成事例を見ながら沼袋駅周辺地区まちづくりの参考資料にすべく作成しました。

* 出典の多くは調布市の「鉄道敷地計画」による。

目次

はじめに

1 鉄道敷地	1
(1) 鉄道敷地とは	
(2) 鉄道敷地の位置付け	
2 検討経緯	2
(1) これまでの検討経緯	
鉄道利用計画図	3
3 整備計画	4
(1) 整備計画とは	
(2) エリア	4
(3) ゾーン	5
○水木ゾーン	6
○映画ゾーン	7
○情報発信ゾーン	8
○健康ゾーン	9
4 鉄道跡地敷地整備計画	10
○鉄道跡地利用の提案	11

1 鉄道敷地

(1) 鉄道敷地とは

鉄道敷地とは、西武新宿線連続立体交差事業によって創出される、中井・新井薬師・沼袋・野方4駅の各駅と駅前広場をつなぐ線路跡地のことをしめします。



鉄道敷地

(2) 鉄道敷地の位置づけ

○中野区基本構想

○新しい中野をつくる10ヶ年計画(第3次)

○中野区都市計画マスタープラン

資料蒐集中

2 検討経緯

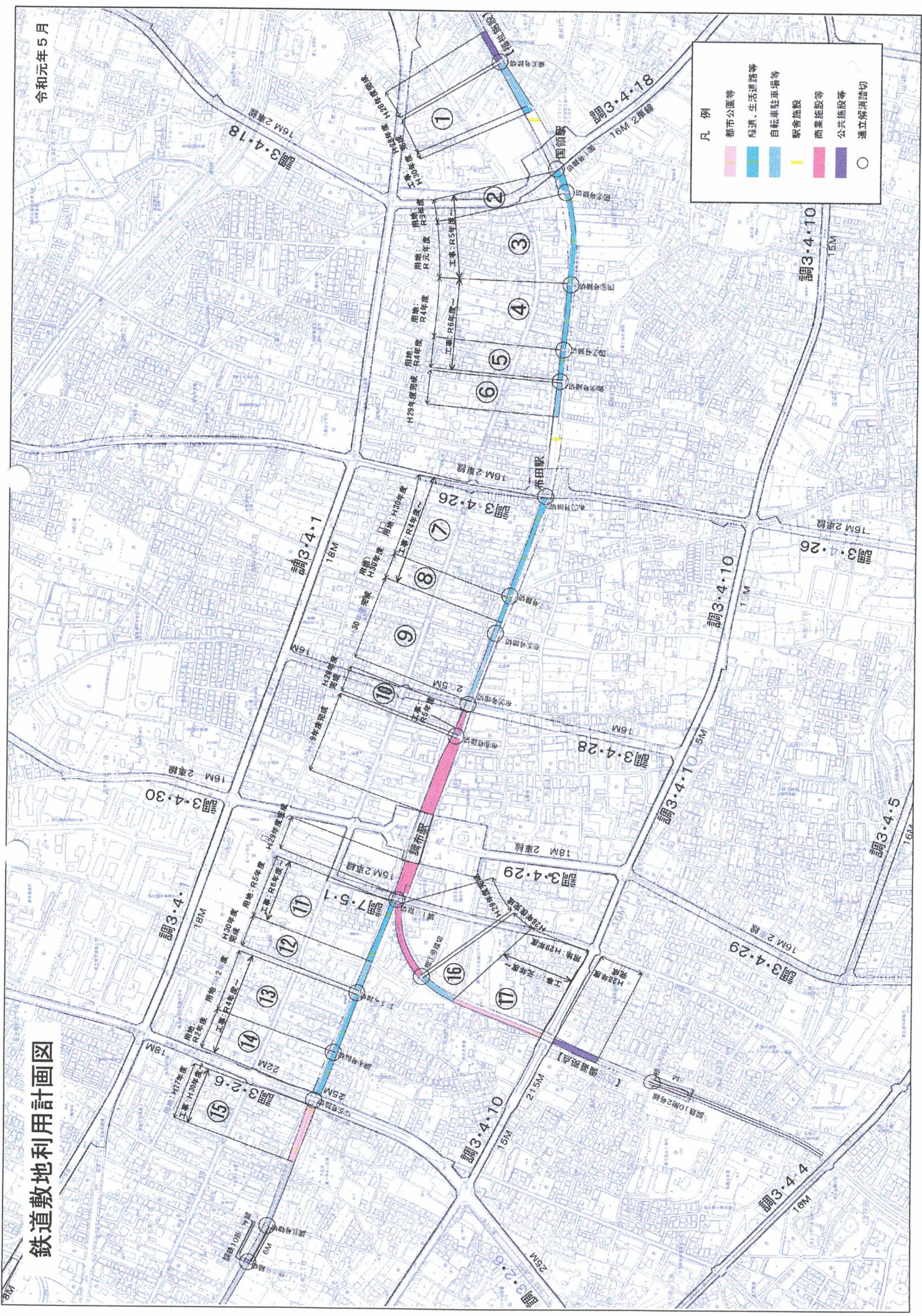
(1) これまでの検討経緯

①鉄道敷地利用計画図参照 市民参加の取組み

	京王線連続立体交差事業	調布市計画	西武鉄道連続立体交差事業
平成10年	建設省事業採択		
平成11年			
平成12年		中心市街地街づくり総合計画策定	
平成13年	都市計画決定		
平成14年	事業認可取得	京王線連続立体交差事業協議会の発足 鉄道敷地利用検討会の発足	
平成15年			
平成16年	工事着手	地上利用検討会の発足 鉄道敷地利用検討会からの提言 (鉄道敷地利用に向けての提言)	
平成17年			
平成18年		鉄道敷地利用に向けての地元勉強会の実施 鉄道敷地利用に関する市民アンケートの実施	
平成19年			
平成20年			
平成21年		中心市街地デザイン・コンセプトの策定	
平成22年			都市計画素案説明会
平成23年		調布・布田・国領駅前広場当検討報告会の実施 鉄道敷地利用基本方針図(案)の公表	都市計画審議会 都市計画決定
平成24年	京王線地下化	民間活力導入調査の実施 鉄道敷地利用基本方針図(変更案)の公表	
平成25年			
平成26年	事業終了	鉄道敷地利用計画図の公表 都市計画マスタープランの改定	工事着手
平成27年		鉄道敷地近隣の商店会・自治会との 意見交換会の実施 鉄道敷地ミーティングの実施 鉄道敷地整備計画の概要図の公表 設計・⑮用地取得	
平成28年		具体的な設計 市民参加 用地取得・整備工事①福祉施設完成 ⑮防災拠点完成	
平成29年		⑥自転車駐車場等完成 ⑩商業施設等完成 ⑰用地取得	
平成30年		⑦⑧用地取得 ⑨自転車駐車場等完成 ⑫自転車駐車場等完成 ⑮都市公園等工事	
平成31年		⑰都市公園等完成 ⑬⑭用地取得	
令和2年		⑬⑭緑道生活道路等用地取得	
令和3年		②緑道・生活道路等用地取得	地下化工事完成予定(変更)
令和4年		④⑤緑道・生活道路等用地取得 ⑦緑道・生活道路等・自転車駐車場等工事	
令和5年		①①緑道・生活道路等用地取得 ②⑩⑭緑道・生活道路等工事	
令和6年		④⑤①①緑道・生活道路等工事	
令和7年			区画街路4号線完成予定
令和8年			
令和9年			地下化工事完成予定
令和10年			
令和11年			
令和12年			
令和13年			
令和14年			

鉄道敷地利用計画図

- 凡例
- 都市公園等
 - 緑道、生活道路等
 - 自転車駐車場等
 - 駅舎施設
 - 商業施設等
 - 公共施設等
 - 運立解消施設

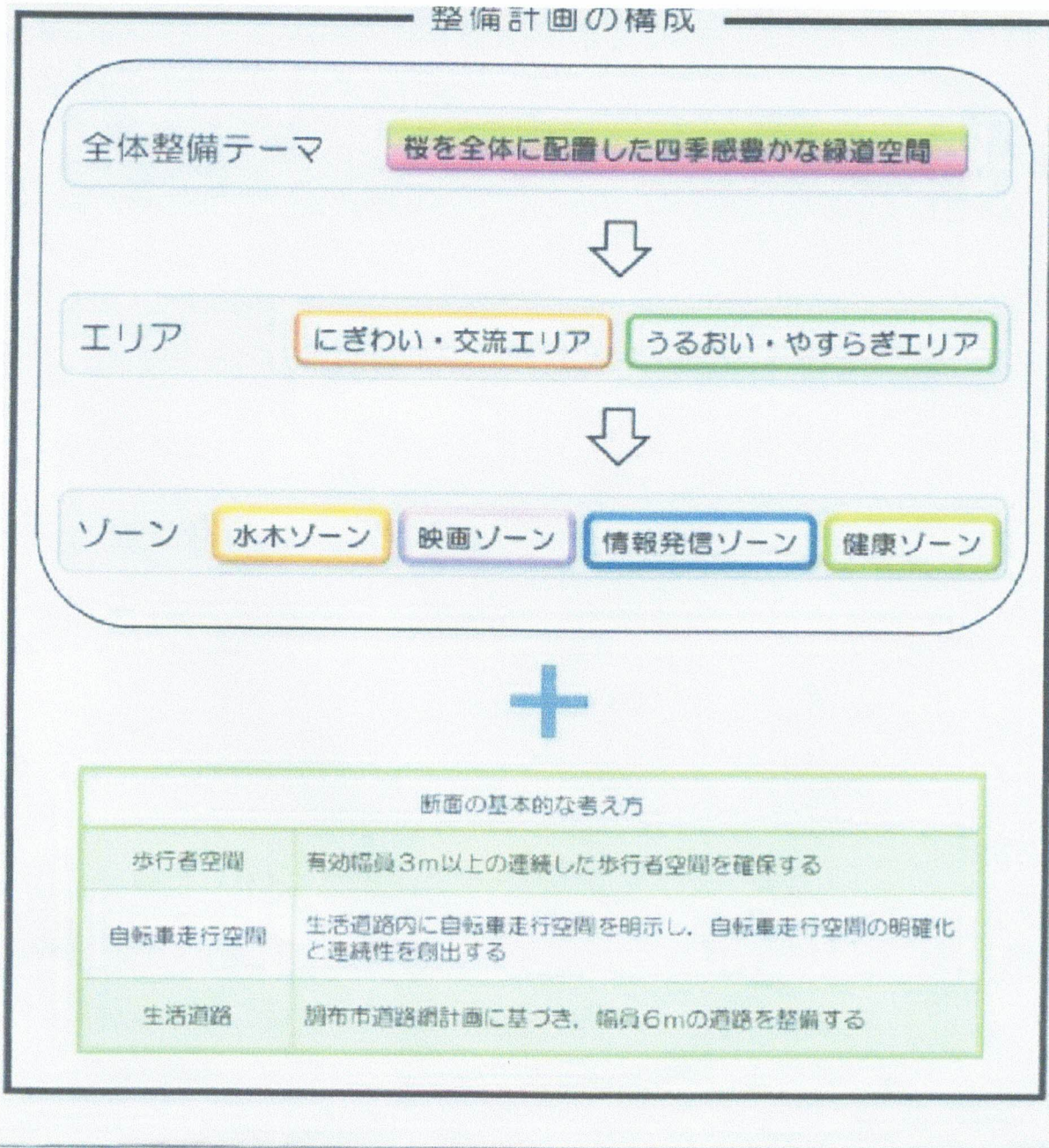


3 整備計画

(1) 整備計画とは

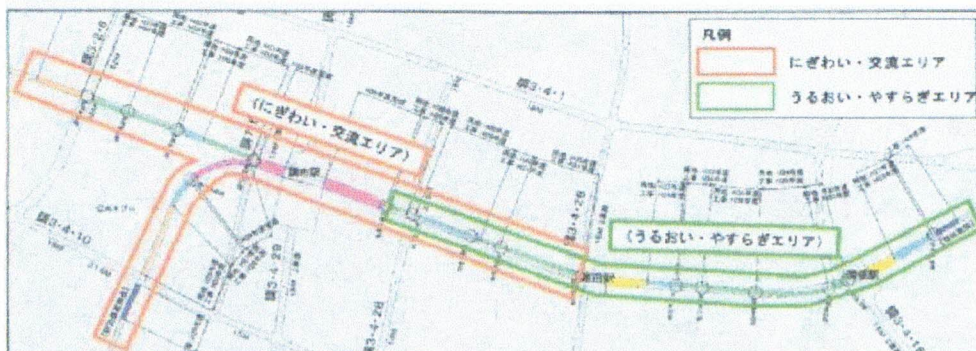
整備計画では、事業終了後筒道敷地の整備を今後10年間と長期にわたって段階的に整備を進めて行く。

基本的な考え方となる、「全体整備テーマ」、「エリア」、「ゾーン」、「断面の考え方」を示す。



(2) エリア

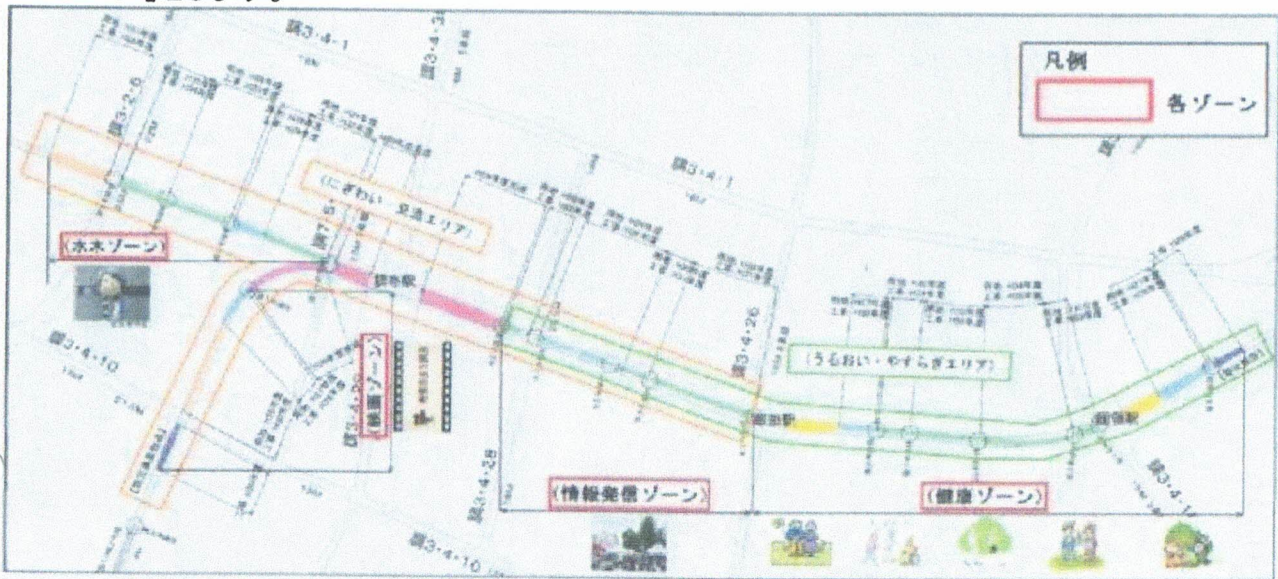
調布駅周辺を「にぎわい・交流エリア」、布田駅・国領駅周辺を「うるおい・やすらぎエリア」とします。



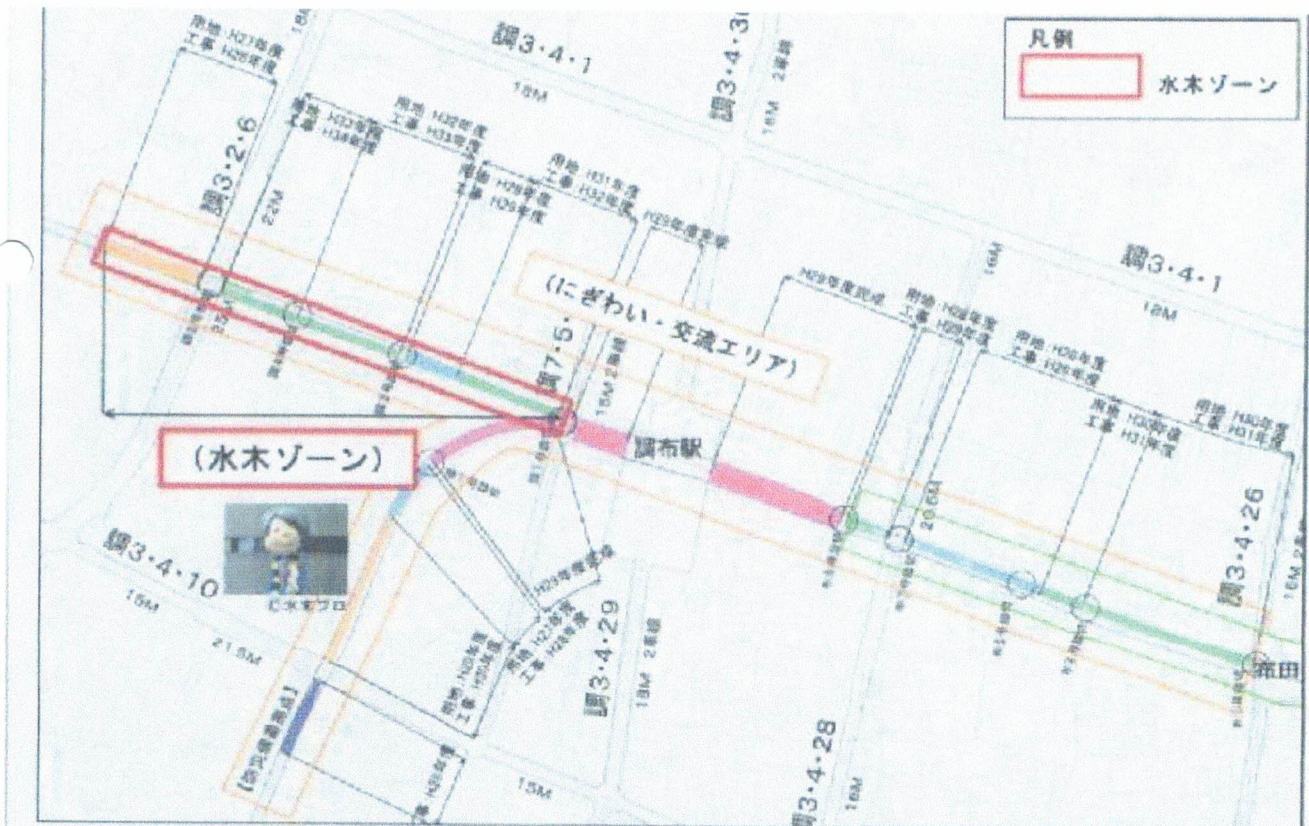
(3)ゾーン

調布駅周辺は、にぎわいや交流を創出するため「水木ゾーン」・「映画ゾーン」とします。
布田駅・国領駅周辺は、うるおいややすらぎを創出するために緑豊かな都市空間を楽しみながら散策できる空間として「健康ゾーン」とします。

調布駅から布田駅の区間は、にぎわいや交流、うるおいややすらぎの特色が融合しゆるやかに移り変わる区間として、都市の緑空間を基本とした人々が集えるばを創出する「情報発信ゾーン」とします。



○水木ゾーン



○水木ゾーン



鬼太郎ひろば



鬼太郎ひろば



鬼太郎ひろば



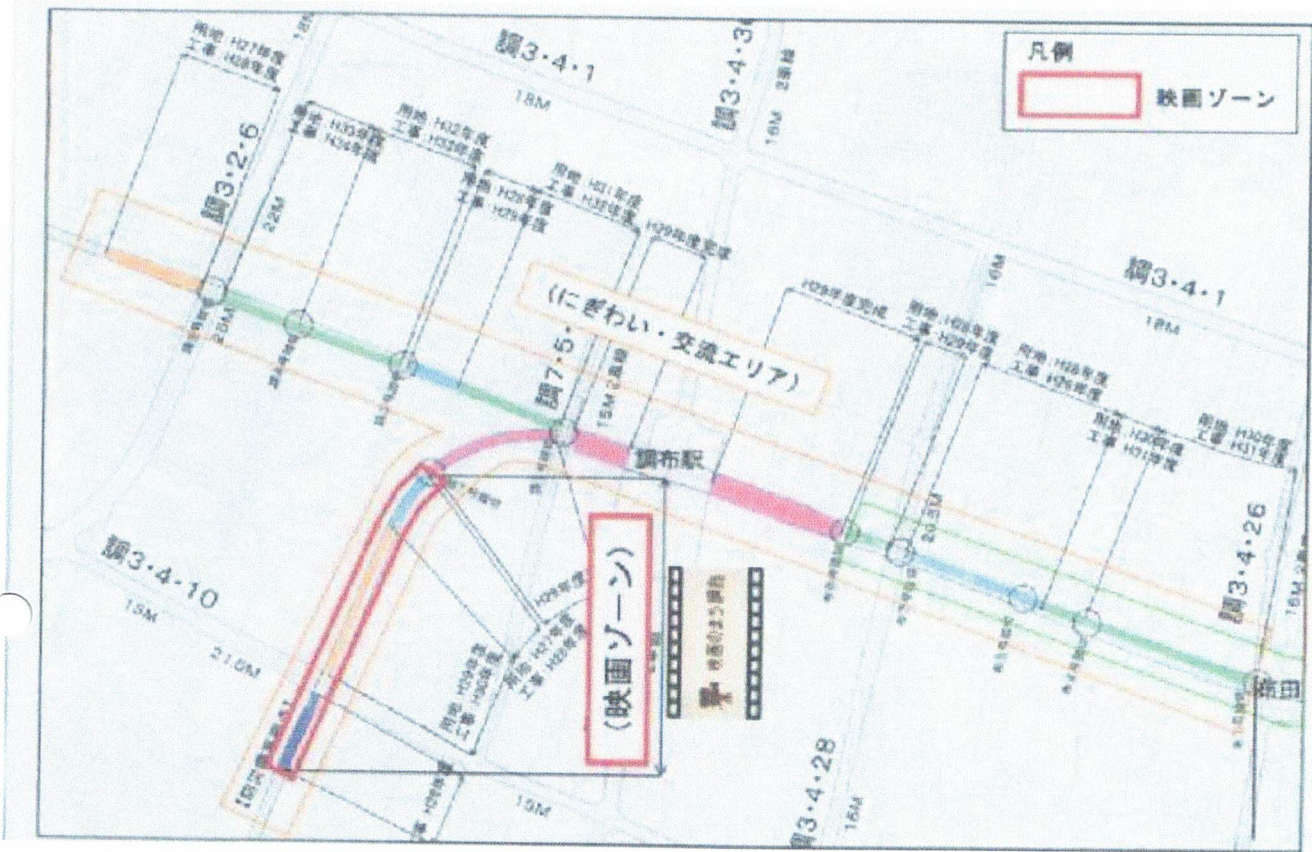
鬼太郎ひろば



緑道・生活道路等・調3・2・6号線



⑬緑道・生活道路等



調布市立調布西第一路上自転車駐車場



調布市立調布西第二路上自転車駐車場

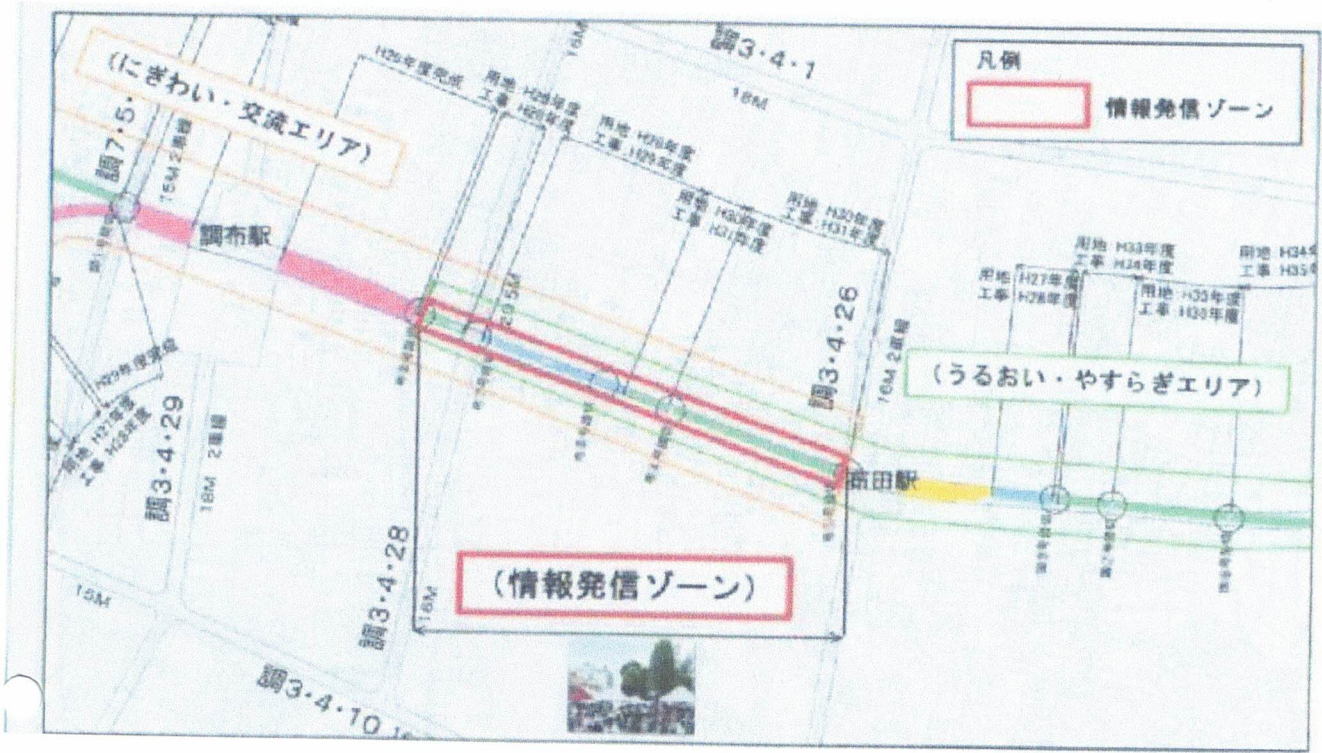


防災備蓄拠点



都市公園予定地

○情報発信ゾーン



緑道・生活道路等予定地

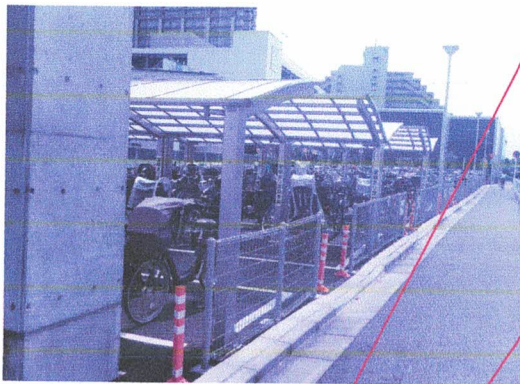
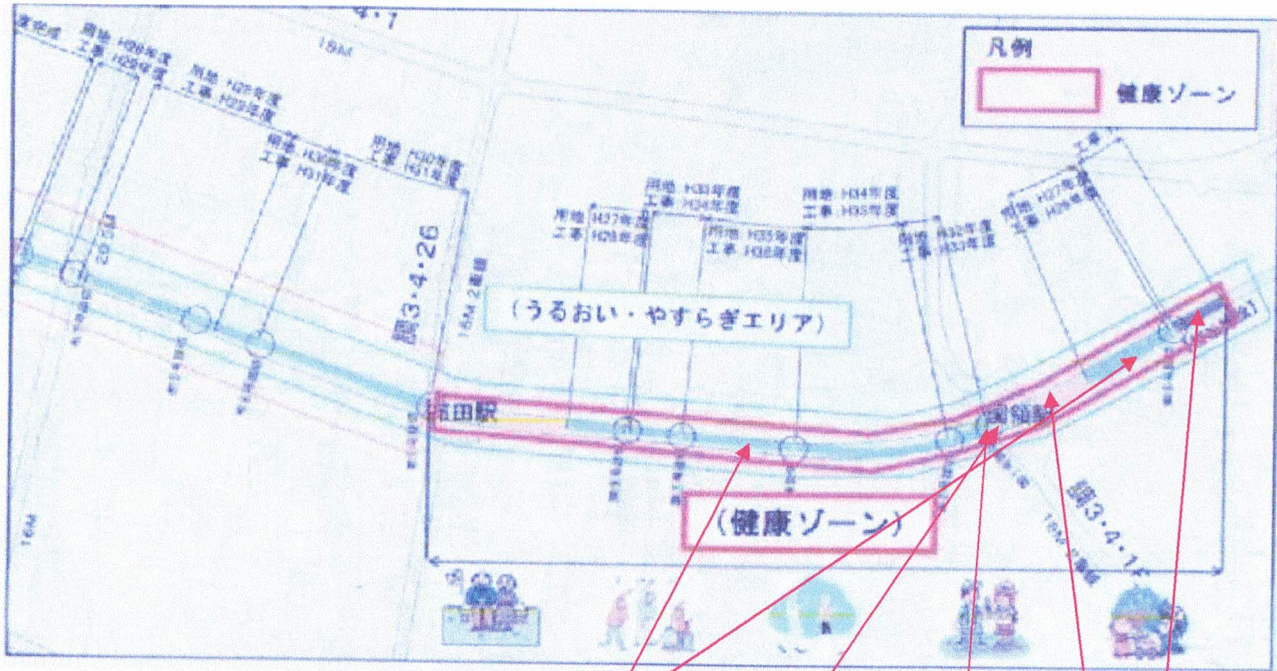


調布市立調布東第1・第2路上自転車駐車場

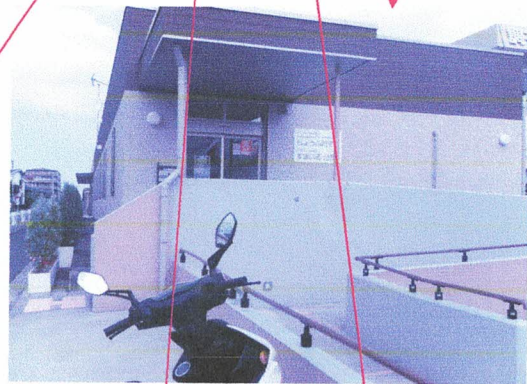


調3・4・28号 商業施設

○健康ゾーン



国領東路上自転車駐車場



福祉施設



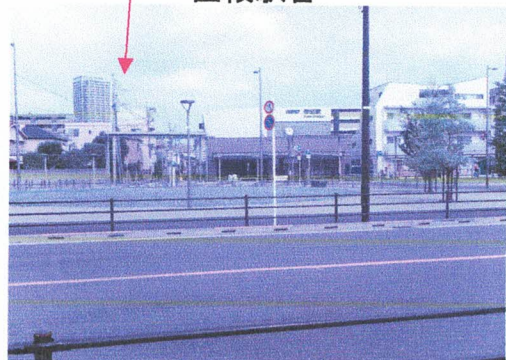
駅前広場



国領駅舎



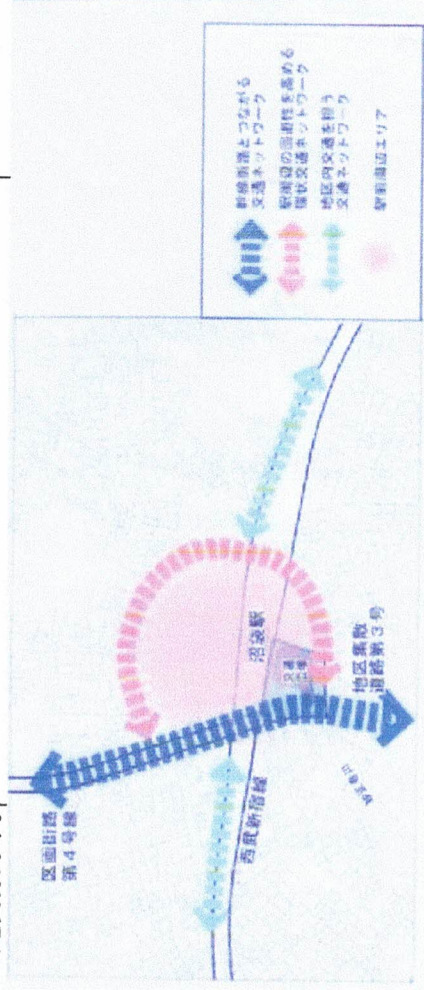
緑道・生活道路等未



布田駅舎

鉄道跡地敷地整備計画

沼袋駅周辺地区まちづくり構想 平成27年2月		西武新宿線沿線まちづくり整備方針 平成27年9月		西武新宿線沿線まちづくり推進プラン 平成29年5月	
P9	5 将来のまちづくりのイメージ 新たに創造するまちの魅力 ◆鉄道跡地 ・地区内から幹線道路にたなごる道路ネットワーク ・みどりや休憩スポットなど憩いの環境が整い、みどりがつながる空間 ・骨格となる避難ルートとして安全に避難できる道	P1	H23/8 中井駅～野方駅間の連続立体交差事業の都市計画決定 H25/8 中井駅～野方駅間の連続立体交差事業の事業認可 H26/1 中井駅～野方駅間の連続立体交差事業 工事着工 H27/2 ぬ名袋駅周辺地区まちづくり構想	P2	まちづくり整備方針に基づき、連続立体交差事業によって生まれる鉄道上部空間の活用について検討を進めています。
P11	6 まちづくりのテーマごとの方針と具体的な取組み 方針1 ◆すべての人にとってやさしい地区内の道づくりの取組み ・鉄道跡地の活用により、地区内から伴船道路につながる道路ネットワークの充実に実現します。 ◆歩きやすく憩える道づくりの取組み。 ・鉄道跡地はみどりや休憩スポットなどのある憩いの環境を整えたみちを実現します。	P5	(2)沿線地域全体のまちづくり方針 ○駅周辺は生活に必要な機能の集積を図る。 ○骨格となる道路ネットワークを整える。 ○鉄道敷きの空間は、まちの魅力を受容できるようなネットワークの形成を図る。 ○避難経路や緊急車両の進入路及び延焼遮断機能の確保を図る。 ○誰しも利用しやすい交通広場を整備していきます。	P4	駅前周辺エリア ・駅前の拠点空間 鉄道上部空間 交通広場はゆとりとにぎわいが感じられる空間の創出
P15	方針8 被害を最小に抑える減災につながるまちづくり ◆延焼を防止、避難路となる道路への取組み ・鉄道跡地は延焼を防止骨格となる避難ルートとして広域避難場所や避難所に安全に避難できるまちづくりを実現します。	P18	○駅前拠点を取り囲む環状の地区内道路等(ループ道路)を形成し、駅前周辺エリア内での安全で快適な歩行者空間を確保していきます。	P10	ループ道路の整備を進めていきます
P17	方針9 みどりの繋がりと新たな緑化の推進 ◆豊かなみどりと水の空間づくりはの取組み ・鉄道跡地は緑化の推進により、地球温暖化の緩和に寄与するみどりにつながり空間づくりを実現します。			P18	スケジュール



図一15 沼袋駅 駅前の交通ネットワーク形成イメージ

出典 西武新宿線沿線まちづくり整備方針 平成27年9月

